

河内小だより

平成20年5月19日 No.7



最近、国際学力調査や文部科学省の調査等で、いろいろな課題が指摘されています。子どもの教育は、家庭・社会・学校がうまく絡み合っ
てこそ効果が上がると思います。それぞれの分野でしかできないこと
や、お互いが連携・協力しなければできないことや、時・場所・年
齢・手段等の選択が必要な事柄など、複雑に絡み合っ
て常に動き変化しています。社会の複雑化・変化のスピード化・高度化により、ま
す
ます学ばなければならないことが増えているにもかかわらず、学習意
欲や、基本的な生活習慣や学習規律の定着が十分ではない児童がと
ても気になります。

新学習指導要領の理念も「生きる力」を育むことです

「生きる力」とは？

- 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようとも、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自ら律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力 など

朝の読書が始まりました

今年度より火曜日朝会がある日を除いて、学年に応じて毎朝5分間程度の読書タイムを設けています。静かに集中して読む姿は真剣そのものです。絵本や漫画本を読んでいる児童もたくさんいますが、長編の物語に挑戦している児童も見うけられます。数多くの本に接して知識を拡げて欲しいと願っています。

(2年生の様子)



扇風機がつけました

前年度お知らせしましたように、暑さ対策で各教室に2台の扇風機を設置する準備をしてきました。厳しい予算の中、業者に発注することは困難であるので、材料を購入し 佐藤業務員を中心に設置することができました。少しでも学習環境の改善となり、児童たちの学習意欲の向上につながることを期待しています。



(1年生の教室)